

2014年度事業計画

2014年度は、大阪定期演奏会を主要シリーズ公演の一つと位置付けて関西圏でのファン拡大に本腰を入れるほか、12年ぶりとなる海外公演を行うなどして活動の舞台を広げ、「日本を代表するオーケストラ・読響」の名を、日本全国そして世界のクラシック音楽界に浸透させる布石とする。そのためには、さらに高いレベルの演奏を追求する努力を続けるとともに、国内外の音楽ホールや関係団体との連携を強めて、新たな演奏拠点の開拓に取り組む。また、経営基盤の強化を図るため、フルオーケストラで年間100回の公演数を維持し、サロンコンサートなどのアンサンブル演奏も含めて同160回の公演を開催して、11年度以降保っている演奏収入5億円台を堅持する。

(1) 全国そして世界を意識した取り組み

読響が2013年秋に採用したキャッチフレーズは「日本には読響がある」。国内トップクラスの演奏技量を明確に打ち出すとともに、首都圏のみならず国内の全地域で演奏活動を行うオーケストラであることを宣言するのが狙いだ。その嚆矢として、14年度には「大阪定期演奏会」の開催を年2回から3回に増やし、新たに「年間会員制度」を創設。関西圏での固定ファン作りの足がかりとする。

12年ぶりとなる海外公演は、常任指揮者カンブルランの指揮で、15年3月にドイツ、ポーランド、ベルギーの4都市で公演を行う。読響が得意とするドボルザーク「交響曲第9番〈新世界から〉」を中心としたプログラムと、カンブルランの個性がいかに発揮されるメシアン「トゥーランガリラ交響曲」を軸としたプログラムを用意、日本を代表する武満徹の作品や若手作曲家・酒井健治への委嘱作など、邦人作曲家の作品も積極的に紹介する。ドイツ・ベルリン公演は、ベルリンフィルの本拠地で、世界の一流オーケストラが頻繁に演奏を行う「ベルリン・フィルハーモニー」が会場、また、ベルギー公演は首都ブリュッセルで欧米の著名オーケストラが利用する「パレ・デ・ボザール」を会場に、ベルギー最大の音楽祭の一環として催される。

(2) 工夫を凝らした演奏活動

聴衆の多様な要望に応えるため、演奏会の柱となるシリーズ公演を再編する。「大阪定期演奏会」の本格展開に加え、13年度に文京シビックホールでスタートさせた「読響カレッジ」は改修工事のため一時休止し、東京オペラシティで「気楽にクラシック～ヨーロッパ音楽紀行～」（全6回）を1年限定で新規開催する。このシリーズは、開演前のプレトークにタレントの中井美穂をナビゲーターとして起用、演奏時間を1時間に凝縮してクラシック初心者にも親しみやすい雰囲気作りに努める。

各シリーズには、常任指揮者・カンブルラン、首席客演指揮者・下野竜也のほか、名誉客演指揮者の尾高忠明、特別客演指揮者の小林研一郎、桂冠名誉指揮者のスクロヴァチェフスキら、選りすぐりの読響指揮者陣が登場。シナイスキー、ヴロンスキー、コルステンら実力者との再共演のほか、ミヒヤエル・ザンデルリンク、ツイガーン、ヘンヒェン、マイスター、準・メルクルら幅広い世代の指揮者との初共演も予定している。

(3) オーケストラ界をリードする社会貢献活動

新聞社とテレビ局を母体とする公益法人のオーケストラとして、社会貢献・地域貢献の取り組みでもオーケストラ業界を牽引していく。

アマチュアの活動支援では、地方公演の前後に地元の中学高校生らを対象にしたクリニックを開講するほか、音楽団体が行うコンクールへの後援、フェスティバルへの講師派遣などの回数を増やして、クラシック音楽のすそ野拡大に取り組む。60歳超のエルダー楽員を活用したアンサンブル公演も継続し、小中学校で開催する「フレンドシップコンサート」(10回)、地域の要望を受けて実施する「サロンコンサート」(40回)を開催。がん患者支援の公益財団とタイアップして病院を慰問する「ハートフルコンサート」(6回)の開催にも引き続き力を入れていく。

(4) 「よみうり大手町ホール」でのアンサンブル公演

読売新聞東京本社に完成した「よみうり大手町ホール」(客席数501)で「読響アンサンブル・シリーズ」をスタートさせる。14年度は4回の出演が決まっている。大手町という立地を生かして管楽器によるアンサンブルなど個性的なプログラムを用意、ホールと読響のブランドイメージアップに寄与できるシリーズに育てていく。また、今年3月28日にはこけら落とし公演として「読響スペシャルコンサート」を開催、フルオーケストラでモーツァルトのピアノ協奏曲などを演奏する。

(5) 南葵音楽文庫コレクションの展示

読響が所蔵する世界的な音楽資料コレクション「南葵音楽文庫」を紹介するために、読売新聞東京本社32階ギャラリーで一部資料の展示を開始した。14年度も定期的に資料の入れ替えを行いながら展示を続ける。12年度から3か年事業として取り組んでいる貴重資料のカラー高画質デジタルデータ化作業は、14年度が最終年に当たり、データベース化を完了させるべく引き続き作業を進める。

(6) 消費増税への対応

4月からの消費増税に伴い、チケット料金(会員券、1回券とも)を改定する。本体価格は据え置き、消費税アップ分(5%→8%)を転嫁することとし、100円未満の端数は切り捨てる。一般的なシリーズ公演のS席1回券料金は従来の7000円から7200円となる。

事業計画一覧

I. 自主公演（国内）	63回
1. 定期演奏会	11回
2. サントリーホール名曲シリーズ	11回
3. 東京芸術劇場マチネーシリーズ	11回
4. みなとみらいホリデー名曲シリーズ	8回
5. 読響メトロポリタン・シリーズ	8回
6. 気軽にクラシック～ヨーロッパ音楽紀行～	6回
7. 大阪定期演奏会	3回
8. 特別演奏会	5回
(内訳)	
首都圏特別	1回
地方特別	1回
サマーフェスティバル	2回
第九公演	1回
II. 自主公演（海外）	4回
III. 依頼公演	33回
1. 首都圏公演	27回
2. 地方公演	4回
3. テレビ出演	2回
I + II + III 小計	100回
IV. その他公演	60回
1. 読響アンサンブル・シリーズ（よみうり大手町ホール）	4回
2. ハートフルコンサート	6回
3. フレンドシップコンサート	10回
4. サロンコンサート	40回
合 計	160回

2014年度事業計画案回数前年度対比

読売日本交響楽団

事業内容	2014年度計画		2013年度実績
		前年度対比	
自主公演	63	▲9	72
定期演奏会	11	0	11
名曲シリーズ	11	0	11
東京芸術マチネー	11	0	11
みなとみらいホリデー名曲	8	0	8
読響カレッジ	0	▲8	8
東京芸術劇場メトロ	8	2	6
気楽にクラシック	6	6	0
オペラシティプレミアム	0	▲5	5
大阪定期演奏会	3	3	0
特別演奏会	5	▲7	12
自主公演(海外)	4	4	0
依頼公演	33	8	25
首都圏公演	27	9	18
地方公演	4	▲1	5
テレビ出演	2	0	2
小計	100	3	97
その他公演	60	7	53
読響アンサンブル・シリーズ	4	4	0
ハートフルコンサート	6	0	6
フレンドシップコンサート	10	3	7
サロンコンサート	40	0	40
合計	160	10	150

【2014年度実施計画書】

〈自主公演〉 定期演奏会				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.17	536	サントリーホール	シルヴァン・カンブルラン	ニコライ・ディミデンコ他
5.17	537	〃	ワシリー・シナイスキー	ワディム・グルズマン
6.12	538	〃	パオロ・カリニャーニ	並 河 寿 美 他
7.15	539	〃	ハルトムート・ヘンヒェン	-
9.9	540	〃	下 野 竜 也	-
10.9	541	〃	スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ	-
11.22	542	〃	尾 高 忠 明	宮 田 大
12.4	543	〃	シルヴァン・カンブルラン	ロ ジ ェ ・ ム ラ ロ
1.16	544	〃	準 メ ル ク ル	金 子 三 勇 士
2.13	545	〃	シルヴァン・カンブルラン	ニルス・メンケマイヤー
3.27	546	〃	ジェラルール・コルステン	-
〈自主公演〉 サントリーホール名曲シリーズ				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.28	570	サントリーホール	小 林 研 一 郎	アレクサンドラ・スム
5.12	571	〃	ワシリー・シナイスキー	デニス・コジュヒン
6.20	572	〃	円 光 寺 雅 彦	ヴァレリー・アフアナシエフ
7.9	573	〃	ハルトムート・ヘンヒェン	-
9.16	574	〃	下 野 竜 也	小 川 典 子
10.17	575	〃	ペトル・ヴロンスキー	-
11.28	576	〃	シルヴァン・カンブルラン	-
12.22	577	〃	レオポルト・ハーガー	アガ・ミコライ他
1.24	578	〃	下 野 竜 也	小 森 邦 彦
2.7	579	〃	広 上 淳 一	ボリス・ベルキン
3.19	580	〃	ジェラルール・コルステン	エ ヴ ァ ・ メ イ
〈自主公演〉 東京芸術劇場マチネーシリーズ				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.26	165	東京芸術劇場	小 林 研 一 郎	アレクサンドラ・スム
5.10	166	〃	ワシリー・シナイスキー	デニス・コジュヒン
6.21	167	〃	円 光 寺 雅 彦	ヴァレリー・アフアナシエフ
7.20	168	〃	ハルトムート・ヘンヒェン	ポ ー ル ・ ル イ ス
9.20	169	〃	下 野 竜 也	小 林 英 之 ほか
10.19	170	〃	ペトル・ヴロンスキー	-
11.24	171	〃	尾 高 忠 明	宮 田 大
12.20	172	〃	レオポルト・ハーガー	アガ・ミコライ他
1.10	173	〃	準 メ ル ク ル	ダニエル・ミュラー・ショットほか
2.15	174	〃	シルヴァン・カンブルラン	ニルス・メンケマイヤー
3.21	175	〃	ジェラルール・コルステン	エ ヴ ァ ・ メ イ
〈自主公演〉 みなとみらいホリデー名曲シリーズ				8 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.27	71	横浜みなとみらいホール	小 林 研 一 郎	アレクサンドラ・スム
5.31	72	〃	ミハエル・ザンデルリンク	カタリン・ショルツ
8.17	73	〃	川 瀬 賢 太 郎	-
9.21	74	〃	下 野 竜 也	小 林 英 之 ほか
10.11	75	〃	スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ	-
11.29	76	〃	シルヴァン・カンブルラン	-
12.23	77	〃	レオポルト・ハーガー	アガ・ミコライ他
1.11	78	〃	準 メ ル ク ル	ダニエル・ミュラー・ショットほか

〈自主公演〉 読響メトロポリタン・シリーズ					8 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者	
4.19	7	東 京 芸 術 劇 場	シルヴァン・カンブルラン	ニコライ・デミデンコ他	
5.30	8	〃	ミヒヤエル・ザンデルリンク	カタリン・ショルツ	
7. 8	9	〃	ハルトムート・ヘンヒエン	-	
9.3	10	〃	コルネリウス・マイスター	アリス＝紗良・オット	
10.8	11	〃	スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ	-	
12.18	12	〃	レオポルト・ハーガー	アガ・ミコライ 他	
1.23	13	〃	下 野 竜 也	小 森 邦 彦	
2.6	14	〃	広 上 淳 一	ボリス・ベルキン	

〈自主公演〉 気楽にクラシック～ヨーロッパ音楽紀行～					6 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者	
4.11	9	東京オペラシティコンサートホール	梅 田 俊 明	川 久 保 賜 紀	
6.6	10	〃	パオロ・カリニャーニ	-	
7.28	11	〃	小 林 研 一 郎	-	
10.23	12	〃	ペトル・ヴロンスキー	清 水 和 音	
12.25	13	〃	レオポルト・ハーガー	アガ・ミコライ 他	
1.28	14	〃	下 野 竜 也	クシシュトフ・ヤブウォンスキ	

〈自主公演〉 大阪定期演奏会					3 回
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者	
6.30	-	ザ・シンフォニーホール	ユージン・ツイガーン	キャロライン・グールド・イング	
10.28	-	〃	ラドミル・エリシュカ	河 村 尚 子	
12.3	-	〃	レオポルト・ハーガー	アガ・ミコライ 他	

〈自主公演〉 特別演奏会／首都圏特別					1 回
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者	
4.23	-	東 京 芸 術 劇 場	未 定	未 定	

〈自主公演〉 特別演奏会／地方特別					4 回
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者	
12.12	-	アクロス福岡シンフォニーホール	飯 守 泰 次 郎	仲 道 郁 代	

〈自主公演〉 特別演奏会／サマーフェスティバル					2 回
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者	
8.16	-	サントリーホール	川 瀬 賢 太 郎	-	
8.20	-	〃	円 光 寺 雅 彦	弓 新 他	

〈自主公演〉 特別演奏会／第九公演					1 回
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者	
12.19	-	サントリーホール	レオポルト・ハーガー	アガ・ミコライ 他	

〈自主公演〉 海外公演					4 回
月・日	-	公 演 名	指 揮 者	共 演 者	
3.2	-	ベルリン公演	シルヴァン・カンブルラン	未 定	
3.3	-	ワルシャワ公演	〃	〃	
3.5	-	ケルン公演	〃	〃	
3.8	-	ブリュッセル公演	〃	-	

〈依頼公演〉 首都圏公演				27回		
月・日	公演名	主催者	会場	指揮者	共演者	
5.5	未	未	定	東京オペラシティコンサートホール	ダニエル・スミス	-
5.21	ミュージカル・ミーソ	読売新聞東京本社〈事業局〉	東京国際フォーラムA	円光寺 雅彦	未	定
5.21	〃	〃	〃	〃	〃	〃
5.25	イギン・コンサート	イギン株式会社	東京芸術劇場	円光寺 雅彦	熊代 祐子	他
6.1	未	未	定	未	未	定
6.15	アプリコ公演	大田区文化振興事業団	アプリコ	井上 道義	小曾 根真	〃
6.25	文事 & 日本財団公演	読売新聞東京本社〈事業局〉	サントリーホール	円光寺 雅彦	レイ・チェン	他
7.30	川崎公演	川崎市文化財団	ミュージザ川崎	ダレル・アン	松山 冴花	〃
8.24	日伊声楽コンクール	読売新聞東京本社〈事業局〉	サントリーホール	現田 茂夫	未	定
8.26	文化事業部	読売新聞東京本社〈事業局〉	東京国際フォーラムA	未	未	定
8.27	〃	〃	〃	〃	〃	〃
9.28	保谷公演	保谷こもれびホール	保谷こもれびホール	未	未	定
9.30	ミュージカル・ミーソ	読売新聞東京本社〈事業局〉	オーチャードホール	未	未	定
10.1	〃	〃	〃	〃	〃	〃
10.2	〃	〃	〃	〃	〃	〃
10.30	芸劇マエストロシリーズ	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	ラドミル・エリシュカ	河村 尚子	〃
11.12	日生劇場	日生劇場	日生劇場	広上 淳一	未	定
11.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
11.14	〃	〃	〃	〃	〃	〃
11.15	〃	〃	〃	〃	〃	〃
11.16	〃	〃	〃	〃	〃	〃
12.7	所沢公演	所沢ミュージズ	所沢ミュージズ	小林 研一郎	未	定
12.8	昭和女子大公演	昭和女子大学	人見記念講堂	〃	〃	〃
1.12	東京音楽コンクール	東京都歴史文化財団	東京文化会館	円光寺 雅彦	未	定
1.31	都民芸術フェスティバル	日本演奏連盟	東京芸術劇場	沼尻 竜典	未	定
2.22	芸劇シアターオペラ	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	未	未	定
3.30	芸劇・親子コンサート	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	未	未	定

〈依頼公演〉 地方公演				4回		
月・日	公演名	主催者	会場	指揮者	共演者	
10.12	下呂公演	下呂ふるさと文化財団	下呂交流会館	S.スクロヴァチエフスキ	-	
12.11	多治見公演	多治見市文化会館	多治見市文化会館	飯守 泰次郎	仲道 郁代	
12.13	下松公演	下松市文化振興財団	スターピアクだまつ	〃	〃	
2.1	静岡公演	静岡音楽館 AOI	静岡音楽館 AOI	沼尻 竜典	ハヴェル・シュポルツル	

〈依頼公演〉 テレビ出演				2回	
月・日	会場	指揮者	共演者		
4.3	東京オペラシティ	-	-		
7.24	新宿文化センター	石川 星太郎	-		

自主公演 67回
 依頼公演 33回

合計 100回